



10月は、比較的天候も安定し、過ごしやすい日が続きました。また、創立150周年記念行事も行い、子どもたちと共に真名子小学校の歴史を振り返り、改めて真名子のよさを感じることができました。

11月に入り、朝夕の冷え込みが感じられつつも、日中は汗ばむ日もあり、衣服の調節を工夫し、体調を整えていきたいところです。また、学校の周りの山々も薄く色づき始め、四季の移ろいを感じます。冬に向けて寒くなっていく時期ですが、コロナ感染症及びインフルエンザ予防のために、相変わらずうがい・手洗いを続け、健康で元気に学校生活を送れるようにしたいと思います。

創立150周年記念式典及び記念音楽鑑賞会 10月20日(金)

記念式典では、本校を代表して、6年生が一人ずつ、「真名子のよいところ」について発表しました。「おびくに様」「トンネル山」「八水」「地域の人」「みんななかよし」「動物」「なかよしタイム」が挙げられ、どんなところがよいポイントなのか、わかりやすく発表しました。

続いて、民話語りクラブの児童が、「おびくに伝説」について、紙芝居風に絵を見せながら発表しました。オカリナクラブの先生である佐藤先生が音楽を入れて下さり、物語に深みが増しました。



【6年生の発表】



【民話語りクラブの発表】



【オカリナによる音楽】

記念音楽鑑賞会では、地域の方々と5・6年生によるお囃子の演奏、大宮神社宮司さんによる巫女の舞、佐藤先生によるオカリナの演奏を行いました。



【お囃子の演奏】



【雅楽の演奏と巫女の舞】



【オカリナの演奏】

この記念行事を通して、改めて、毎日通っている真名子小学校や、住んでいる地域を大切にしていこうという気持ちが高まった児童も多く見られました。

～振り返りより～

(1年生)まなごをたいせつにしていきたいです。

(2年生)まなごのことをおぼえながら、でんとうをうけついでいきたいです。

(3年生)こんなむかしから真名子小学校があったなんて知らなかったです。べんきょうになりました。

(4年生)和楽踊りやお囃子のような真名子のでんとうは、みんなで守りたいです。真名子小の児童として受けつげることがあったら、自分からしたいです。

(5年生)真名子には、たくさんの歴史があることをうれしく思いながら、自然を大事にして生活していきたいです。

(6年生)昔から続いている「すなおで、れいぎ正しく、よく働く」という真名子小の児童のよさを守り、地域の人に感謝して過ごしたいです。

学校開放／4・5・6学年PTA活動／授業参観(懇談会) 10月25日(水)

学校開放である午前中から、子どもたちの様子を見に来てくださる方もおり、4・5・6学年では学年PTA活動も行われました。4学年は「タグラグビー」、5学年は「スノードーム作り」、6学年は「クレープ作り」を、楽しそうに行っていました。

授業参観も、たくさんの保護者の方に来ていただきました。子どもたちも学校での様子を見てもらい、とてもうれしそうでした。



【第4学年タグラグビー】



【第5学年スノードーム作り】



【第6学年クレープ作り】

6年生校外学習 10月31日(火)

県立博物館の専門員の方と一緒に、八幡山公園の地層を観察し、そのつくりについて学んだり、博物館の展示をもとにして、栃木県の大地のつくりを学んだりしました。

また、実際に木の葉化石を取り出す体験を行い、化石について理解を深めることができました。



【地層の観察】



【博物館見学】



【化石取り出し体験】

よい歯の優良学校コンクールについて

本校が、《令和5年度栃木県教育長賞・栃木県歯科医師会長賞》に決定しました。日頃から、各御家庭や学校で虫歯予防に取り組み、本校児童の歯がとてもきれいだという事で受賞することができました。今後も引き続き、きれいな歯を保てますよう、よろしくお願いいたします。

チューリップの球根について

更生保護女性の会の皆様から、大きなチューリップの球根をたくさんいただきました。花壇に植えて、春を待ちたいと思います。ありがとうございました。